

# 令和6年度

## まちづくり推進部 大森地域局の方針書

局名	まちづくり推進部 大森地域局
局長名	菊池 寛也

### 1. 局の使命(ありたい姿)

多様な地域資源を活用し、地域住民との協働により「人・心・ふれあう郷土(まち)おおもり」を目指して、「人にやさしい特色ある地域づくり」を進めます。

### 2. 局の抱える課題(現状)

- (1) 魅力あふれるリゾート村を目指します。
- (2) 高齢者の自立した生活を維持するため、健康寿命の延伸対策が必要です。
- (3) 質の高い行政サービスを提供するため、職員の資質向上を図る必要があります。

### 3. 今年度の『スローガン』

住民の声をしっかり受けとめ、信頼される地域局になろう！  
～今やる、すぐやる、明るく元気に柔軟に～

### 4. 今年度の方針

- (1) 豊かな自然に触れスポーツや温泉で汗を流し、何度も足を運んでもらえる、魅力あふれるリゾート村を目指します。
- (2) 健康寿命を延伸し、心身ともに健康で安心して暮らせるために適切な行政サービスを提供します。
- (3) お客様の立場で考え、様々な発想や創意工夫により、質の高い行政サービスを提供します。

### 5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	魅力あふれるリゾート村
	取組内容	①リゾート村の賑わいを創出するための仕掛けづくりを行います。 ②芝桜を始め、適正な公園管理を実施します。 ③令和7年度からの体育施設の指定管理に向け、関係課と連携し準備を進めます。
(2)	実現したい成果	健康寿命の延伸
	取組内容	①特定健診・各種がん検診の結果に基づき、戸別訪問による受診勧奨や特定保健指導を強化します。 ②健康不安等を抱える本人や家族からの相談対応と、その後のフォロー体制を整えます。 ③関係課等と連携・協力しながら健康保持増進のための健康教育等を実施します。
(3)	実現したい成果	質の高い行政サービスの提供
	取組内容	①市民が相談しやすい職場環境づくりと、あいさつを始め親切・丁寧な対応に努めます。 ②業務に関する知識の習得や、情報収集を積極的にを行い能力向上を図ります。

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

### (1) 魅力あふれるリゾート村

- ①大森公園テニスコートは、年々使用者が増加してきており、全県中学総体の軟式テニス大会が2年連続で開催されるなど、様々な大会に利活用されている。また、軟式テニスのプロテニスプレイヤーを招聘して技術交流会を開催し、テニス人口の増加に努めた。5ヶ月間の使用者は13,665人、前年比で19.8%増加している。
- ②大森リゾート村を会場に、16回目となる「芝桜フェスタ」を開催した。期間中の土・日曜日には、子どもたちが楽しめるイベントや大森太鼓保存会の演奏、バルーンアートパフォーマンス等を実施し、県内外から7日間で合計19,513名のお客様に会場いただき、赤や白、ピンク、紫など約10万株の花のアートを楽しんでいただいた。
- ③大森リゾート村体育施設5施設(大森体育館、テニスコート、野球場、多目的広場、グラウンド・ゴルフ場)の指定管理者制度導入に向けて、関係各課との協議を進めた。

### (2) 健康寿命の延伸

- ①②受診率の向上につながるよう個別訪問や窓口にて個々へ健(検)診の案内を行った。住民の健康不安等には電話相談や訪問を行い、気持ちに寄り添った丁寧な対応をした。また、昨年度まで特定健診を大森体育館で実施していたが、空調設備や立地条件などの課題があり、今年度から大森地区交流センターへ会場を移した。駐車場が若干狭くなるものの、快適な環境で検査を受けることができ、買い物ついでに寄ることができるなど概ね好評を得たことから来年度以降も継続する。
- ③関係機関等と連携し、いきいきサロンや集落の集いの場にて健康講話や徘徊見守り講座などを実施した。

### (3) 質の高い行政サービスの提供

- ①来庁された方への積極的な挨拶と声掛けにより用件への案内がスムーズに実施できた。また、複数の手続きを要する方へは担当者が交代し、ワンストップ対応となるよう心掛けた。さらに、明るく元気にあいさつするとともに、柔軟な対応を心掛けて積極的に市民とのコミュニケーションを図った。
- ②窓口対応の空いた隙間時間を活用し、eラーニングによる研修を受講した。また、自己啓発につながる研修及び専門的な知識を深める研修を、各職員が積極的に受講した。

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

### (1) 魅力あふれるリゾート村

- ①大森公園テニスコートについて、10月には硬式テニスプロプレイヤーを招聘し、技術交流会を開催する予定であり、硬式テニス人口増にも努め、更なる利活用を目指す。
- ②翌年度に向け、緑地及び管理施設の適正な維持管理を行う。
- ③さくら荘への指定管理者制度導入に向けた動きを注視しながら、大森リゾート村体育施設5施設への指定管理者制度導入に向け関係各課と協議を進める。

### (2) 健康寿命の延伸

- ①②③年度上期に行った特定健診の結果により、訪問や電話等で受診勧奨や特定保健指導を行う。また、地域の小学校に出向き、認知症サポーター養成講座やSOSの出し方講座を行い市民協働により地域全体での見守り体制を強化する。

### (3) 質の高い行政サービスの提供

- ①来庁された方への積極的な声掛けと挨拶を引き続き実施し市民満足度向上に努める。今後は確定申告など担当者不在の機会が増えるため、更に局内の協力体制を強化する。
- ①引き続き明るく元気にあいさつするとともに、柔軟な対応を心掛けて積極的に市民とのコミュニケーションを図っていく。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

### (1) 魅力あふれるリゾート村

- ①大森地域スポーツフェスタとして、硬式テニスプレイヤーによる技術講習会など7種目の大会・交流会を開催した。さくら荘では、季節に応じた会食・宴会プランを企画し、積極的な情報発信と営業活動を行い利用客の増を図った。また、玄関前に「かまくら」を作成し、2/7(金)から16(日)にかけ「さくら荘のかまくら2025」を開催。期間中の土日祝日に甘酒や餅の振る舞い、お菓子のつかみ取りなどを行い、夜にはイルミネーションを点灯し閑散期の賑わい創出に努めた。
- ②芝桜の適正な維持管理は継続しつつ、令和7年度に市政施行20周年を迎えるにあたり、新しいイベントの実施を含め内容の見直しを行い、魅力あふれる「芝桜フェスタ」を開催する。
- ③大森リゾート村体育施設5施設の円滑な指定管理者制度導入に向けて、次年度も関係各課と協議を重ね令和8年度からの導入を目指す。

### (2) 健康寿命の延伸

- ①②新規の高血圧管理者4名、糖尿病・慢性腎臓病重症化予防対象者6名全員へ受診勧奨実施した。また、特定保健指導での積極的支援対象者10名中9名、動機付け支援対象者22名中18名に初回面談を実施した。いずれも昨年度の実施率を大きく上回った。
- ③関係課と連携し、集落単位での健康教室等を都度実施した。大森小学校4年生児童と保護者を対象に「認知症サポーター養成講座」、同小5年生児童と保護者を対象に「小児生活習慣病予防講座」、同小5年生児童を対象に「SOSの出し方講座」を実施した。

### (3) 質の高い行政サービスの提供

- ①来庁された方への積極的な声掛けや挨拶、丁寧な説明を職員全員が常に心掛け実践につなげた。また、さくら荘では定期的に担当者会議を開催し、お客様からの要望について検討するとともに、これまでの業務を見直すなど従業員の意識改革に努めた。
- ②eラーニングのほか様々な研修を受講し、知識を深めながら業務に関する情報収集を積極的に行い能力向上に努めた。